

日本共産党
流山北部後援会

ニュースあすなろ

2026年6月
第328号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

基本的人権緊急時こそ適切に！

自民党などは憲法に、外部からの武力攻撃、内乱、自然災害などに対応するとして、「緊急事態条項」を付け加えようとしています。

一、自民党案「緊急事態の宣言が発せられたときは、・・・内閣は法律と同一の効力を有する政令を制定することができ・・・」

もし戦争になったら、国民の基本的人権（集会結社権）

に戦争をするために先の戦争のように、「緊急事態」だと言って基本的人権を制限するでしょう。

二、自民党案「緊急事態の宣言が発せられたときは、・・・衆議院は解散されなければならない」と、両議院の議員の任期の特例を設けることができる。」

大事な時こそ、適切な判断ができる議員、国会が必要で。それなのに戦争を始めた政権が国民の審判を受けることなく続いてしまっています。衆議院が解散されていても、憲法に明記されているように、参議院の緊急集会で対応すれば十分です。なお、自然災害が入っているのは国民の理解が得られやすいということであって、憲法に明記しなくても、今までの自然災害発生時のように、今の法律で十分対応できます。西深井 酒井

中東情勢が市政運営に影響

暮らしや営業に影響が出ている中東情勢。上下水道の工事やアスファルトの直段がアッブして舗装が出来ないなど市政にも影響が広がっています。そんな中での6月議会。植田市議会以外の日本共産党の3人の議員の一般質問の内容は。
①平和施策について
②義務教育の完全無償化について
③ごみ処理行政について
④市営住宅について
⑤地域経済の振興策について

第55回 植田和子議会報告会
暮らしと政治を語り合うつどい
8月2日（日）10：00から
場所 北部公民館 第2会議室
6月議会の報告と国際情勢が市政に与える影響なども含めて国政のことも語り合ひましょう。お誘い合わせて、おいでください。

再稼働やめ 原発から撤退を！！

異議あり
道理なき比例定数（45）削減
民意切り捨ての選挙法
国会の議論も反対の意見も無視
（小選挙区では大量の死票が）

こんにちは 植田和子です



6月13日 10日水曜日、無事に私の一般質問が終了しました。傍聴に来てくださったみなさん、本当にありがとうございました。本日は、今日からここの準備に取りかかります。

①熱中症対策について
（エアコンがあるのにアイスを入れず、ムシムシの体育館の中で部活動が行われていた件など）
②「障害者のための料理教室」を行政の都合で一方的に廃止し障害者の生きがいや居場所を奪った件
③利根運河に新たな人道橋の設置（提案）と危険な飛び石・階段の適切な危険性の周知と安全対策について、を取り上げます。を廃案に追い込みました。と議員団は議会に臨んでいきます。 美原 Y

ヘッドライト

外国人排除を進めるトランプ政権。スポーツも例外ではない。FIFAの大会が始まっている。トランプはイランの代表団長の入国を拒否。ソマリアの審判も。その他コーチやスタッフなどが入国できない国やパレスチナ、ソマリア、ガバナなどいくつかの国は移民問題を理由にビザの発給をしないという▼FIFAは試合の人気を見ずチケットの値段を決めるというまるで自らの主権の仕組みを持ち込み、スポーツにふさわしいアンフェアな運営で庶民の楽しみを奪っている。サポーターはたとえ何百万円の手ゲッを購入できたとしてもアメリカに入国できない危険性が高いというわけだ▼スポーツと政治の問題は絶えず起る。ヒトラーのオリンピック利用は悪名高い。トランプのMAGAと称する自国第一主義は平和を破壊するだけなく、世界の経済、世界の人々の暮らし、文化、スポーツもろくろくそのトランプにFIFAは平和賞を創設して進呈。浮かれてはいられない。

スポーツも支配するか

